

品川区児童センター事業運営実施要領

平成10年 4月 策定
平成18年 3月 改定
平成20年11月 改定
平成21年 4月 改定

(目 的)

第1条 この要領は、品川区立児童センター条例（昭和41年4月1日品川区条例第9号。以下「条例」という。）に基づいて設置する児童センターの事業の実施に必要な事項を定め、その適正かつ円滑に運営を図ることを目的とする。

(性 格)

第2条 児童センターは、児童福祉法第40条に定める児童厚生施設として、品川区における児童の健全な育成に関する諸活動の地域の拠点としての性格を有するものとする。

(機 能)

第3条 児童センターは、主に次の機能を有する。

- (1) 子育て相談機能
- (2) ライフステージに対応した育成支援機能
- (3) 地域との連携機能

(利用対象)

第4条 児童センターの利用の対象は、次のとおりとする。

- (1) 児童福祉法に規定する18歳未満の者
- (2) 区内在住の、家庭で子育てをしている保護者等
- (3) 児童の健全育成に資する団体、グループおよび18歳以上の個人

(運 営)

第5条 児童センターの事業は、主に次のとおりとする。

- (1) 子育て相談機能
 - ① 保護者等からの相談事業
 - ② 児童自身からの相談事業
 - ③ 地域からの相談事業
- (2) ライフステージに対応した育成支援機能
 - ① 乳幼児対象事業
 - ② 小学生対象事業
 - ③ 中・高校生対象事業
 - ④ 保護者対象事業
- (3) 地域との連携機能
 - ① 地域との協働事業
 - ② 地域への還元事業
 - ③ 児童問題に関する事業

(4) その他、児童福祉に特に必要と認められる事業

(留意事項)

第6条 児童センター事業の運営に際しては、次の各項に留意する。

(1) 安全および衛生に関すること。

児童および保護者が安心して児童センターを利用できる環境を整えるため、特に次の事項に留意しなければならない。

- ① 児童の安全指導
- ② 施設、設備の安全面・衛生面での配慮
- ③ 備品、遊具の安全面・衛生面での配慮
- ④ 非常災害時・緊急時の安全確保

(2) 児童等の指導および援助に関すること。

児童センターにおける指導は、児童が自主的、創造的に活動を展開していけるよう援助することを基本とし、実施にあたっては、特に次の事項に留意しなければならない。

- ① 児童等のニーズを踏まえるとともに、その個性を尊重する。
- ② 児童の社会性・生活習慣を習得・伸長する。
- ③ 幼児の指導にあたっては、保護者と幼児の自主的な活動を尊重し、必要に応じ援助する。
- ④ 児童の指導、援助に資するため、保護者や関係機関と連絡を密にし、情報の交換を行う。

(複写サービス)

第7条 児童センター利用者は開館時間内において活動資料を複写することができる。

2 複写に要する経費は、利用者の負担とし1枚につき10円を徴収する。

(その他)

第8条 この要領に定めるもののほか、必要な事項は、子ども未来事業部長が別に定める。

付 則

この要領は、平成10年4月1日から施行する。

付 則

この要領は、平成18年4月1日から適用する。

付 則

この要領は、平成20年12月1日から適用する。

付 則

この要領は、平成21年4月1日から適用する。